

## 大阪社保協 寺内事務局長講演 国保問題を学ぶ学習会

### 国保料統一に反対し、引き下げを求める運動を大きくしていこう

1月30日、和歌山市社保協主催で国保問題に関する学習会が、現地参加とWEB参加を合わせ



た形で開催されました。現地には各団体から代表者約30名が集まり、大阪社保協の寺内事務局長からご講演頂きました。寺内事務局長は、「国保は高すぎると言われるが、実際会計が過去一度も赤字になった事がない財政である」と指摘。和歌山市だけで見ても、2012年から黒字額が大きくなっており、自治体は実は巨額のお金を蓄えている事が分かります。この国保料に関して、負担の公平化を進める為に、和歌山県は将来的に2027年までの間に統一保険料とする事を目標としています。

この統一保険料が導入されると、地域の医療水準が加味されず、所得水準のみされる事になります。また、これまでのように黒字金額を次年度繰越にして国保料を安くする事ができなくなり、基金だけが積み上がっていくと寺内事務局長は訴えました。加えて寺内事務局長は、「そもそも大都市や中核市では所得の低い人が多く、保険料が集めにくい宿命にあるので、これはそこに住む住人に責任があるわけではない。」と説明し、「コロナによる減免等ではなく、保険料そのものを引き下げて実質収益を増やす運動が何よりも大切」と主張しました。また、県が持つ情報を速やかに開示するよう求め、真実を知る事も重要であると訴えました。

「コロナ禍のもとで保険料を統一するな」を合言葉に、高い国保料の引き下げ運動を広げていきましょう。

### ◎年金天引き日宣伝活動 年金下げるな！ 医療費2割化反対！

2月15日は年金支給日でした。定例の宣伝活動をJR和歌山駅前で行いました。4月から年金が下げられます。75歳以上の医療費窓口負担の2割への引き上げが計画されています。高齢者のいのち、暮らしを守れと訴えました。10人が参加、署名は医療14筆、年金7筆を集めることができました。



### 後期高齢者医療広域連合議会を傍聴しよう！

■2月16日(火)午後1時より ダイワロイネットにて

■「75歳以上の医療費窓口負担の2割化撤回を求める請願」が審議されます。